石巻専修大学
●「石巻専修大学」ホームページ● http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
0225
(22)7711
広報専用FAX
0225
(22)7809

社会人基礎力育成グランプリ2014

全国決勝大会に出場

経営・山崎ゼミ　東北予選で優秀賞

▶ 活動についてプレゼンテーションする3人

経営学部・山崎泰央ゼミの3人が、「社会人基礎力育成グランプリ2014」の東北地区予選大会（12月7日、宮城県・仙台合同庁舎東北経済産業局）で、最高賞にあたる優秀賞を獲得。全国6地区の代表による決勝大会（3月10日、東京）の出場権を獲得した。

出場したのは大畑普子（あきこ）さん（経営3・福島県相馬高）、後藤大輝さん（経営2・宮城県石巻西高）、三浦寛輝さん（経営2・宮城県築館高）。

これは経済産業省の提唱する「社会人基礎力」が、大学での授業・活動を通じてどれだけ伸びたかを競う大会。大学教職員有志による社会人基礎力協議会が主催、学生も運営に協力した。山崎ゼミからも4人が学生実行委員として携わった。

山崎ゼミでは大学周辺の仮設住宅で支援活動を実施。今回はその取り組みの一つである「エスコートランナーズ」について報告した。これは運動不足の解消と健康を目的とした「TAKE10」と、子どもたちに遊び場を提供する「プレーパーク」を柱とした取り組みで、2013年の成果が高く評価された。

3人は「ご指導いただいた坂田学長をはじめとする多くの人に感謝し、決勝大会も頑張ります」と意気込みを語った。

第8回UECコンピュータ大貧民大会

理工の2人が敢闘賞

来月東京

「第8回UECコンピュータ大貧民大会（UECda-2013）」（11月23日、東京・電気通信大学）の自作プログラムの部ライト級で、熊谷良さん（理工4・宮城県迫桜高）が3位、森澤普宣（ひろのぶ）さん（理工4・岩手県盛岡北高）が4位に入賞し、ともに敢闘賞を受賞した。情報電子工学科の学生の入賞は3年連続。

同大会は電気通信大学が主催、情報オリンピック日本委員会が共催。情報分野を学ぶ学生らが、日本でポピュラーなトランプゲーム「大貧民」をプレーするプログラムを製作し、対戦形式で競い、アルゴリズム（問題解決手順）の優劣で勝敗を決める。

熊谷さんと森澤さんは「プログラミングの経験は授業での演習程度しかなく、今大会の出場はとても刺激になりました。自分の作ったプログラムで入賞することができ、うれしいです。全国各地からレベルの高い、さまざまなプログラムが集まる大会であるため、参加者の方からプログラムの内容を聞く機会もあり、得るものが多く、貴重な体験ができました」と振り返った。

▲ 熊谷さん（右）と森澤さん

2013年度 学位記授与式ご案内

2013（平25）年度の学位記授与式（卒業式）は下記の通り実施します。

●**学位記授与式**（学部・大学院）
日時：3月20日（木）　10時30分開式
会場：本学体育館

●**卒業を祝う会**（同窓会・育友会共催）
日時：同日14時
会場：石巻グランドホテル（石巻市千石町2-10）

※式終了後、卒業生の旅立ちを祝う「卒業を祝う会」を開催します。各種飲食物も用意。移動の際にはバスをご利用ください。

関東地区予選大会では専修大学商学部の前川明彦ゼミが優秀賞を受賞（本紙前号紹介）。決勝大会で「社会人基礎力大賞」を目指し、競い合う。

震災復興での役割

横浜・神大で坂田学長が講演

坂田隆学長が1月23日、神奈川大学横浜キャンパスで行われた「東日本大震災特別講演会―激震に揺るがず石巻専修大学が守り抜いたもの」で講演を行った＝写真。

坂田学長は神奈川大学の学生・教職員ら50人を前に、「東日本大震災―被災地最前線の石巻専修大学の役割―」と題し、石巻圏域の被害状況や大学の対応を報告。また、現在行われている研究や復興に向けての取り組みなどを紹介し、来場者からの質問に丁寧に応じた。

学生会が募金活動

フィリピン台風救援

▲ 救援金を手渡す渡辺会長（左）

学生会（渡辺和洋会長＝理工3・福島県日本大学東北高）が、昨年発生したフィリピン台風の救援募金活動を行った。救援金（総額5万1604円）は12月25日、石巻市福祉部に手渡され、日本赤十字社石巻支部、同県支部を通じて被災地に送られる。

活動は昨年12月に行われ、学生会のメンバーたちが協力を呼びかけた。学生主体の募金活動は1995年の阪神・淡路大震災以来で、渡辺会長は「東日本大震災では全国から多くの支援を受けており、恩返しがしたかった。今後も大規模な災害が起きたら、支援を行いたい」と話した。

修学旅行の高校生本学で生徒研修会

▲ 生徒からの質問に答える杉田センター長

1月24日、修学旅行で宮城県を訪問していた福岡県立小倉高校の2年生42人が本学を訪れ、「生徒研修会」を行った。

大学開放センターの杉田博センター長（経営学部教授）が講師を務め、東日本大震災の教訓、被災地の現状、地域や行政との連携協力態勢などを説明した。

2教員が出展

産学官連携フェア

産学官のマッチングを目指し、東北地域の学術研究機関などが成果を発表する「産学官連携フェア2014 winter みやぎ」（1月28日、宮城県仙台国際センター）に、経営学部の石原慎士教授と理工学部の水野純准教授がブースを出展した。

石原教授は「石巻市飯野川発サバだしラーメンの開発」をテーマに、石巻地域の各企業とともに開発し、好評のサバだしラーメンを紹介。水野准教授は「マイクロマシン駆動における電子制御実験教材の実例」をテーマに、学生が電子制御について理解を深めるための実験教材について説明した。

離乳食作りとピアノ発表会

人間教育学科実習

人間学部人間教育学科では、豊富な実習・演習が行われており、講義と実体験の融合が図られている。

専門科目「子どもの食と栄養」では、1月16日、家庭科・調理実習室で「調乳・離乳食実習」を実施した。学生たちは器具の消毒やミルクの調整と、成長に合わせた離乳食作りに取り組んだ。

▲ 真剣にミルクの調整に取り組む

▼ 練習の成果を披露

20日には、専門科目「ピアノ実技とソルフェージュⅡ」履修者によるピアノ発表会が音楽全体練習室で開催された。発表した学生たち15人は、緊張した面持ちで1年間の練習の成果を発揮。前期の発表会よりも格段に上達した腕前を披露した。